



ふるさとの

自然と歴史を満喫

▼第4回三浦史跡めぐり  
ウォークラリー▲

地元に残る貴重な歴史に触れてもらおうと、「三浦史跡めぐりウォークラリー」が開かれました。当日は朝から小雪がちらつく寒い日でしたが三浦住民センターをスタートし、三浦3山(日岳、伊賀峰城跡、松の頭)や勘作屋敷跡などをめぐる約11kmコースに挑戦しました。

コースの里山には梅の花も満開の時を迎え、参加者は早春の息吹を肌を感じながら、和気あいあいとウォークを楽しみました。



大村市ホームページでは、行事・イベントをいち早くお届けする「とれたてカメラスポット」を開設しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.omura.nagasaki.jp/>

日ごろの

生きがい学習を発表

▼第45回なかちく公民館まつり▲

中地区公民館の定例利用グループ58団体が、日ごろの生涯学習の成果を発表する「なかちく公民館まつり」が開かれ、この日は25団体が舞台発表を行いました。大正琴やダンス、民謡、コーラスなど真剣な発表に、会場いっっぱいの拍手が響いていました。

また、8・9日には21団体が展示発表を行い、来館した人は、すばらしい作品のでき栄えに見入っていました。



3/2

気・剣・体をひとつに

▼第35回

大村市防火少年剣道大会▲

3月1日～7日の春季全国火災予防運動にちなんで、市内の15剣道場から集まった少年消防クラブ員約240人が参加して「防火少年剣道大会」が開かれました。これは、火災が発生しやすいこの時期に、子どもたちに剣道をとおして防火の心を養ってもらおうと開かれたもので、少年剣士たちの個人戦、団体戦の真剣勝負に、観客席から熱い声援が送られていました。



3/3

おおむらの

ひな人形が勢ぞろい

▼第7回

長崎街道大村宿ひなまつり▲

3月3日から23日まで、恒例の「長崎街道大村宿ひなまつり」が中央商店街アーケードで開催されました。

今年約300組のひな人形がアーケード内の特設会場や各店舗に飾られたほか、市内保育園児が描いた特大ひなまつりイラストがアーケード内の空き店舗のシャッターに展示されました。

アーケードを訪れた皆さんは、買い物のかたわら、華やかに飾られたおひなさまを楽しんでいました。





# 市政のできごと



## 動き出した新幹線による「魅力ある西九州地域」のまちづくり



左から、桶渡・武雄市長、谷口・嬉野市長、松本・大村市長、宮本・諫早副市長、田上・長崎市長

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が、長崎・佐賀両県、JR九州の三者合意により着工に向けて大きく前進したことを受けて、両県の沿線5市の市長による「5市サミット」が佐賀県武雄市で開催され、新幹線を活かしたまちづくりおよび産業振興について意見交換しました。

5市長は、西九州ルートの早期実現、新幹線を活かした都市づくりを連携して取り組むことを確認し、合意書にそろって調印しました。

2/20

### 新幹線5市サミット

## 大村の新しい特産品を募集しました



右から  
伊丸かまぼこの《大村ウインナー》  
土井牧場ハム製造所の《無添加手作りハム「茶香」》

市制施行65周年を記念して、新しい大村の特産品となるよう新たに開発・改良された作品（商品）を募集したところ、市内外から11作品の応募があり、審査の結果、2作品に奨励賞が贈られました。

※最優秀作品は該当なし。

2/20

### 大村の「こればい」特産品 創造支援プロジェクト

## 犯罪のない安全・安心のまち大村をめざして



犯罪のない安全・安心まちづくり条例を制定に伴い、市では、市内7地区の住民センターと本庁の公用車計8台に青色回転灯を装備し、子どもたちの下校時にあわせ巡回パトロールする取り組みを開始しました。

同様の取り組みは、タクシー協会や地区防犯協会など6団体がすでに実施しており、車両数は今回の8台を加えると27台となり、県内自治体では一番多い台数となります。

2/21

### 青色回転灯巡回パトロール 出発式

## ふるさと鈴田をサクラでまちおこし



※この事業は、平成19年度大村市地域魅力アップ支援事業の指定を受けています。

鈴田のまちおこしと活性化を図ろうと、「すずたの明日を考える会」（会長、出口智規氏）が、住民手づくりの公園建設を計画し、鈴田小学校裏山の西光寺山に1,000本のサクラを植樹しました。

この日は、朝から小雪が舞い散る寒い日でしたが、会場には大勢の人たちがスコップなどを手に集まりました。三世代で参加した家族や、結婚・誕生などを記念して参加したカップルなど、1世帯に1本のサクラをのびやかに植樹しました。

2/24

### すずた1,000本桜公園 植樹祭